

ちょっとの工夫で!!

# 遊び心あふれる照明器具

前号で、「自分の個性やセンスを表現できるディスプレイスペースの作り方」を紹介しました。今回も引き続き個性やセンスを表現できるアイテムとして照明を取り上げます。

照明器具は、インテリアの重要アイテム。好みに合わない照明でさえも、ちょっとしたアレンジで、自分好みに大変身します。照明をもっと身近に楽しんでもらうために、遊び心あふれるアイデアをご紹介します。



## 今ある照明器具をリメイク



## 身近なものでアレンジ

### 1 コットンレースを使う

部屋のイメージに合わないなと感じていた照明に、コットンレースをかけてみてはいかが。レースの色や種類は、部屋のイメージにあわせてチョイス。夜になると、レースからもれる光がステキな雰囲気をつくってくれます。



### 3 ぬの布を使う

布はバリエーションが多く、使い次第で、部屋にに応じていくだけでも個性的な照明器具が出来ます。2枚重ねにするとボリュームがでます。天井についているタイプの照明なら、その上に薄い布を貼ったら雰囲気が変わります。



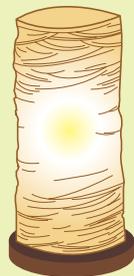
### 1 ビーズのイルミネーション

おしゃれなカタチの瓶や好きなガラスに、好きな色のビーズを入れます。透過性の高いビーズなどでもOKです。ビーズを入れた瓶を、後からクリップライトで照らすと、ビーズが光を通して幻想的な明かりが楽しめます。



### 2 わし和紙を使う

和紙とひと言で言っても、透かしたものや、葉っぱや花と一緒に漉き込んだものや、水玉模様などたくさんの種類があります。和紙で照明器具のまわりを囲ってみるとイメージが一変。和も洋もどちらの空間にも合います。



### 4 手持ちのスカーフを使う

お手軽簡単を求めるなら、スカーフを使うのも手です。使わなくなったスカーフを照明器具にかけるだけです。布のようにきちんと揃えず、ざっくりらんにかけた雰囲気が個性的。特に透ける素材だと光がもれてきれいです。



### 2 カゴで手づくり照明

台になる板にネジでソケットを取り付け、電球をねじ込みます。電球の上にカゴをかぶせたらできあがり。熱がこもらないように、編み目がやや荒いカゴを選びましょう。カゴの種類によって、光のめれ方が異なるので、いろいろなか光が楽しめます。



#### 照明を手作りする時の注意点

好みの素材でランプシェードを作ったり、使う目的に合った光源を組み合わせたり、照明作りは楽しいもの。ただし、熱を発する照明は、扱い方を間違えると火災の原因になることもあるので、手作りする際には、素材の選び方などに注意が必要です。

from  
バックナンバー

176号「照明」、204号「上手なあかりの選び方」、250号「光ひとつで部屋の表情が変わる!照明で空間のコーディネイト」もあわせてご覧ください。

上村建設

<http://www.e-uemura.jp>

住まいの宝箱

<http://www.e-juutaku.com>

賃貸物件をお探しの方は

<http://www.happy-house.co.jp>

★詳しいお問い合わせは各支店まで。電話番号は裏面をご覧ください。